



ボールを落とさないよう慎重に（競技名：安全運転お願いします）



元気に宣誓！

赤組 さとう かのん ちゃん
 白組 いしばし のあ ちゃん

Contents・目次

そうや自然学校の活動について.....	2～5
まちの話題.....	6～8
お知らせ.....	8～11
図書室だより.....	12
今月のおすすめ料理.....	13
戸籍だより・あとがき.....	14

6月28日、こども館園庭で行われた運動会。とても暑かったので園児たちは汗びっしょり！それでも全ての競技を、元気にこなし、とても楽しい日となりました。



自然と共生する地域づくりの拠点



『そうや自然学校』

そうや自然学校は、平成18年3月末で閉校となった旧敏音知小学校校舎を利用し、中頓別町の豊かな自然環境を活かしたまちづくりと生涯学習を推進し、地域の青少年の健全な育成と、都市と農村の交流を図ることを目的とした青少年教育施設として開校しました。

その自然学校では、野生動物がたくさん住む森、開拓の歴史がある山間の自然、牛が草をはむ酪農の町など自然体験型・生活体験型・地域産業体験のプログラムを提供。また、「人と自然」「人と人」そして、「人と社会」が繋がる「学び」を提供する場でもあります。

今でこそ確立した様々なプログラムがありますが、開校当初は中頓別町観光協会・NPO法人北海道自然学校ねおすが共同して、豊かで身近な自然環境を利用した体験観光や敏音知岳・鍾乳洞を利用したモニターツアー、校舎を利用したキャンプ・合宿を展開し運営

方法、プログラム開発やスタッフの人材育成へと活動に必要なノウハウを学んでいきました。開校6年が経過し、今では町外からの利用もあり、一年を通して活動できる状態となりました。

今回は、あらためて自然学校の活動がどのように行っているのか、新たな取り組み事業はあるのかなどを自然学校・沢尻校長（左写真）にお話しを伺いました。



「自然学校長」沢尻雅昭さん
福島県出身 55歳

【現在の特徴】

広い敷地と周辺施設充実していることが特徴。旧グラウンドが使えるので、テント準備が整って

れば50人ぐらい宿泊が可能。周辺施設との連携が容易で、入浴・食事はピュンネリシ温泉（学校内での自炊も可能）、登山は敏音知岳で体験。少し移動には時間はかかるが、天然記念物である鍾乳洞見学体験、食品加工を体験できる食彩工房「もうもう」、ペーチャン川砂金掘体験場、また、そうや自然学校の裏手には頓別川が流れているので、川遊び・釣りなども体験でき、道内の自然学校では珍しいぐらいに周辺施設が充実している。さらに、カヌー・釣り体験など、ただ体験してもらうのではなく、準備から片付けまで、一連の工程を参加者自身にってもらうことに「学び」の面がある。スタッフは声を掛けるだけで手を出さないの、他の体験施設とは違うと思う。

【活動状況】

一年間を通しての利用は殆どが幼児から中学生までとなっていて、特に7～9月は学生らの宿泊研修の受入れが多く、宗谷・留萌管内の小中学生の参加が年々増えている。屋外で行うプログラムについては、どうしても天候に左右されるが、中止となってもそれを含めて自然を学ぶ事と思っ



いいとこ探し隊

てほしい。なかには、準備のプログラムを考えてほしいと学校からの要望があるが、スタッフ数や準備等を考えると難しい。1回（にも）取り組んでい

【新たな取り組み】

まだ構想の段階だが、『フットパス』という事業を考えている。自然学校の周辺林道を利用して四季折々の風景を鑑賞で



登山体験

きる。この界限だけでも変化に富んだ林道がかなりあるので、ただ歩くだけの行為でも、あらためて自然から学ぶことができると思う。

「フットパス」とは：イギリスを発祥とする“森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径（こみち）【Path】”のことです。イギリスではフットパスが国土を網の目のように縫い、国民は積極的に歩くことを楽しんでいます。



森のこども園

【展望】

多くのサポートスタッフがこの自然学校を支えてくれている。また、高齢者の方は生活職人という形で参加・協力してもらっている。

メインの受入れは学生たちとなっているが、将来その子ども達が大人になった時に、次の世代にこのそうや自然学校で培った経験を伝えてもらえれば良いと思う。



「スタッフ」上杉康志さん
苫小牧市出身 26歳

平成 25 年度の主な事業実績

事業名	主な利用者	主な活動場所	利用者総数	活動回数	宿泊
いいとこ探し隊	小学生	自然学校、町外	54 名	6 回	有
笹かご講習	大人	自然学校	20 名	3 回	
森のこども園	園児	園庭、ふるさとの森	203 名	12 回	
もの作り体験	小中学生	自然学校	77 名	4 回	
総合学習	小学生	町内全域	124 名	2 回	
登山体験	大人	敏音知岳	6 名	1 回	有
カヌー体験	管内中学生	頓別川	133 名	7 回	有
釣り体験	小中学生	頓別川	64 名	3 回	
スノーシュー体験	大人	寿スキー場	4 名	1 回	
鍾乳洞探検	小学生	鍾乳洞	26 名	3 回	
通学合宿	小学生	自然学校	12 名	1 回	有
宿泊体験	管内小中学生	自然学校	164 名	6 回	有
森もりキャンプ	小学生	自然学校	9 名	1 回	有
被災地こども 支援プロジェクト	小学生	自然学校 町内全域			有

平成 23 ~ 25 年度のみ実施 有
(平成 26 年度から通常の森もりキャンプへ)

もの作りでは、ピザや食品加工などを行っていて、「森のキッチン HARU」のお店の石窯を利用しています。森林散策で収穫したキノコや野菜作りで育てた野菜を使用し、できた料理を食べることができるので、子どもたちからとても喜ばれています。例年行われている「いいとこ探し隊」や「森のこども園」「森もりキャンプ」は少子化のため、年々利用者が減っているそうです。しかし、カヌー体験・宿泊体験は人気のプログラムメニューとして定着しつつあり、今年度も参加者の増加が見込まれます。



人気が高まるカヌー体験

今後の課題としては、天候に左右されてしまうメニューの雨天時の対応が求められていること。また、近年では小中学生の受入れが多いので、参加範囲の拡大と、それに伴うプログラムの開発。そして、本来の目的である地域間交流や都市・農村との架け橋とならなければなりません。スタッフ人数の作業的な限界、経費的な問題がありますが、この豊富な自然を活用でき、周辺施設と連携・利用が図れるところは、道内でも少ないので、「そうや自然学校」が地域づくりの拠点となりうる施設であることを実感できると思います。これからも、「そうや自然学校」は、豊かな自然環境の中で人を育て、自然と郷土を愛する心を育むために活動を展開していきます。

自然体験メニュー

■自然体験プログラムカレンダー

春

夏

秋

冬

ピンネシリ岳登山体験

釣り体験

カヌー体験

川遊び

ナイトサファリ

化石発掘

ネイチャーゲーム

スノーシュー探検

冬の鍾乳洞探検

イグルー作り体験

地域産業体験メニュー



昔体験



食品加工体験



地域の食を体験



野菜収穫体験



砂金掘り体験

創作活動メニュー



木工クラフト



ジオラマ作り



自然の素材でものづくり



クリスマス小物づくり



ストーンペイント



カスタムナイフ作り

その他メニュー

○森のこども園
野外での活動を主とした認定こども園との連携事業。

○いいとこ探し隊
なかとんべつとその周辺の「いいところ」を発見する活動で小学生が対象となる。

○森もりキャンプ
夏・冬休みの年2回、そうや自然学校で実施している長期キャンプ。

【 そうや自然学校のプログラムメニューです。たくさんの参加者を受け入れていますので、下記までご連絡ください。 】

そうや自然学校 連絡先 TEL : (01634) 8-3611

MAIL : souyashizen@ipstar.ne.jp

URI : <http://souyashizen.com/>

花に囲まれた公共施設に

有識者やボランティアで組織する花クラブ活動賛同者と自治会・事業所など7団体では、6月4日、町内14施設に花樽を設置し、12種類の花苗を植えました。

また、国道沿いの開発跡地広場の花壇には、自治会などが1,500本以上の花苗を植えましたので、ぜひご観覧ください。



ターミナル前での苗植え



開発跡地広場での苗植え



植えたあとは、たっぷりと水を

6月4日、こども館コ
スモス組がそうや自然学校
『森のこども園』事業の一
環で野菜作り体験を行いま
した。3種類（じゃがいも、
玉ねぎ、人参）の野菜の苗
や種を植え秋の収穫まで園
児により育てていきます。
この野菜だと、収穫後の
料理は…。

野菜作りにチャレンジ



秋までのびのびと

6月5日、農協職員や町職員が中心となり、町営神崎牧場への入牧作業が行われました。10戸の酪農家から預託された67頭の若牛は、全頭元気にパドックへ降り、翌日、青々と茂る牧草地へ放牧されました。秋の下牧には、どれ程大きくなっているか、酪農家の期待が膨らみます。



農協と役場との入牧作業



翌日には広々とした牧草地へ



交差点や車の通行の多い道路は気をつけて



6月6日、こぐまクラ
ブ（小学校未就学園児と保
護者）が主催となり、交通
安全指導を目的とした親子
遠足を行いました。こども
館から寿公園までを親子で
歩き、道路の歩き方・信号
の見方などを学びながらの
楽しい遠足となりました。

親子遠足で交通指導

仲間を信じ、一致団結

小雨にみまわれた6月8日、中頓別小学校では大運動会が開かれ76名の全校児童は練習の成果を一杯発揮しました。



バトンはリレーの醍醐味



4段タワーの完成！



迅速かつ的確に自衛消防を

6月9日、中頓別町国保病院では、夜間、ボイラー室から出火したとの想定で消防訓練が行われました。消防支署職員からのアドバイスも交え、通報伝達・情報共有・避難といった訓練を実践し、万が一に備えていました。



訓練後は職員全員で反省会



入院患者の搬出訓練



登山マラソン スタート！

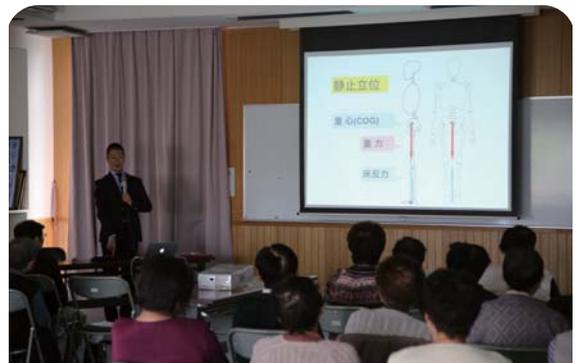


うす雲に覆われた山頂に到着



バランス能力を学ぶ

6月17日、保健センターでは、理学療法士の大森圭講師を招き、「からだのバランス」をテーマに健康講座が開催されました。感覚器の重要性・バランス能力の維持についての講義・実技を25名の参加者は熱心に受講していました。



知識だけではなく、話術も冴える大森講師

賑わったピンネシリ山開き

6月15日、肌寒く感じる中、道の駅ピンネシリでは、恒例の敏音知岳（704m）山開きが行われ、待ちわびた一般登山者は8時半から入山。登山マラソン参加者は9時半にスタートを切りました。
 駅庭では、町内の名産品が販売され賑わいを見せました。

障がい者の苦勞を学ぶ

6月18日、中頓別中学校
2年生が保健センターで
開かれた「障がい者体験」
に参加。社会福祉協議会の
職員を講師に右半身麻痺や
盲目状態などを疑似体験し
ました。障がい者の不便な
生活を理解することで、あ
らためて不自由なく生活が
できていることのありがた
みを感じたことでしょう。



麻痺（左）・盲目（右）体験

information ～お知らせ～

弥生線道路除草

5月31日、地域貢献事業の一環として
鍾乳洞まつりの前日にあすなろ道路
株式会社で道路除草作業を実施。弥生
線全域の道路を綺麗に除草し、鍾乳洞
まつりの開催にご協力いただきました。



自衛官募集相談員に委嘱状

6月5日、自衛官募集相
談員として桜田守さん（62
歳）が委嘱され、町役場内
で自衛隊旭川地方協力本部
長より委嘱状が手渡されま
した。任期は平成26年4月
から2年間となります。



委嘱状を受け取る桜田守氏

新採用職員の紹介

6月16日付で総務課総務グループに配属され
た、北口奨悟（きたぐち・しょうご）です。

行政の仕事は初めてで、慣れない部分も多々
ありますが少しでも町民の皆様のお役に立てる
様一生懸命頑張っていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。



平成25年度中山間地域等直接
支払交付金の取り組みについて

◇ 集落協定の概要

近年、担い手の高齢化や労働力の減少等による農地の耕作放棄地が懸念されるなか、農業生産条件の不利を補うため、「中山間地域等直接支払制度事業」を実施しています。

この事業は、集落で定めた協定に基づき「生産性・収益性の向上、担い手の定着、農村環境の整備等」を集落の共通目標に掲げ、中頓別町の農業の振興につなげることを目的としています。

平成25年度は、労働力・機械力不足の解消と作業機械の効率的な活用を進めるための自走式ハーベスター等導入への支援、新規就農希望者の住宅整備等及び景観作物（キクイモ）等の栽培に対する支援などを実施してきました。



新規就農希望者への支援



景観作物等の作付
(キクイモ収穫)

◇ 対象農用地の基準別面積及び交付額

町内の対象草地面積は26,604,342㎡あり、この面積が交付金算定の対象となり10アール当たり1,200円が交付されます。

「平成25年度の事業費内訳及び事業実施内容」

□ 平成25年度交付金額	31,925,210円
財源内訳	
国費	15,962,605円
道費	7,981,302円
町費	7,981,303円
□ 交付金の目的別用途の内訳	
・農業者個人の草地面積により配分	(56.3%)
	17,981,131円
・中頓別集落の共同取組活動に充当	(43.7%)
	13,944,079円

「平成25年度の中頓別集落の共同取組活動の内訳」

取組内容	金額
1. 集落の管理体制 ・集落役員等への報酬、事務委託費等	737,660円
2. 農業生産活動 (1) 農用地に関する事項 ・対象農地の測量経費 (2) 水路・農道等の管理 ・耕作道等の整備 (3) 多面的機能を増進する活動 ・農村の環境整備、景観作物の作付け等	777,000円 331,380円 183,456円
3. 農業生産活動の体制整備 (1) 農業生産活動等の継続に向けた活動 ・農作業機械の共同化、新規就農者への支援、防疫体制整備	11,581,825円
4. その他 ・事務費等	8,945円
5. 農作業支援システム導入に係る積立 ・積立金	323,813円
計	13,944,079円



↑
農作業機械の共同化
(導入自走式ハーベスター
利用状況)



中頓別町農業委員会委員選挙で5名が当選 選任委員3名を加え、8名の農業委員会に

3年の任期満了に伴い、公選委員の選挙が7月1日告示され、定数5名に対し同数が立候補の届出を行い、7月6日の投票日を待たずして当選者が決まりました。当選されたのは、石黒和浩さん（字上駒）、鈴木義博さん（字中頓別）、石井広幸さん（字敏音知）、宗像育美さん（字上頓別）、常本啓二さん（字松音知）。5名には、7月7日午前、中頓別町選挙管理委員会・佐藤美昭委員長から当選証書が手渡されました。

選任委員の顔ぶれは、農業協同組合推薦・森川健一さん（字兵安）、農業共済組合推薦・栗林松三さん（字上頓別）、議会推薦・藤田健一さん（字松音知）の3名。公選委員と選任委員を合わせ8名の農業者の代表で組織される委員会となりました。



届出を行う農業委員立候補者



中頓別小学校前での啓発運動

7月2日、中頓別保護司会（内田良恵支部長・全3名）が教育長とともに、小学校前と郵便局前で街頭活動を行いました。犯罪や非行の防止・罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的とした運動です。全ての人と共に暮らせる安全・安心な社会をつくるため、皆さんのご理解・ご協力をお願いいたします。

社会を明るくする運動
中頓別保護司会



安全で安心なまちに ～ストップ・ザ・交通事故～

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、町民一人ひとりの交通安全意識を高めていきましょう。

また、「平成26年度夏の交通安全運動」の概要を下記のとおりお知らせいたします。

実施期間 7月11日～（金）～20日（日）

- 運動視点
- ・観光や夏型レジャー等に伴う事故防止や自動二輪車による事故防止等を図る
 - ・夏休み期間中における小・中学生等の交通事故防止

【枝幸警察署】



平成26年度（第2回）北海道警察官採用試験のお知らせ

枝幸警察署では、北海道警察官採用試験の受験申込書を7月2日（水）から配布しております。

【採用予定人員】 男性 A区分70名 B区分135名
女性 A区分15名 B区分35名

【試験区分】 A区分～大学卒（平成27年3月卒業見込者を含む。短大卒は除く。）
B区分～A区分以外の者

【受験資格年齢】 昭和57年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方

【第1次試験日】 9月21日（日）

【受付期間】 8月12日（火）から8月27日（水）までの間
（電話申請は8月22日（金）まで）

【問合せ先】 枝幸警察署 ☎0163-62-0110 までご連絡願います。

※詳細については北海道警察ホームページに掲載されています。

後期高齢者医療制度のお知らせ

～ 保険証（被保険者証）の一斉更新について ～

◆ 保険証が新しくなります

現在ご使用の保険証の有効期限が平成26年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。

7月中に新しい保険証を交付しますので、お手元に届きましたら、お持ちのピンク色の保険証を破棄し、黄緑色のものをご使用ください。

- 新しい保険証の有効期限は、平成27年7月31日までです。
- 紛失したときや、汚れたときは再交付しますので、保健福祉課保グループまでお申し出ください。

後期高齢者医療被保険者証	
有効期限 平成27年 7月31日	
被保険者番号	01234567
住所	広城市連合町1丁目
氏名	広城 太郎 男
生年月日	昭和 7年 7月 7日
前被保険者交付日	平成20年 4月 1日
発給年月日	平成20年 4月 1日
交付年月日	平成26年 7月 1日
被保険者の割合	1割
被保険者番号 （凡そ被保険者の名義及び印）	39011010 公印(朱)

新しい保険証の色は黄緑色です

◆ 減額認定証（限度額適用・標準負担額減額認定証）も新しくなります

現在ご使用の減額認定証の有効期限が平成26年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。有効期限は保険証と同じく1年間です。

引き続き交付対象に該当する方は7月中に減額認定証を交付しますので、8月1日からはお持ちの水色の減額認定証を破棄し、黄色のものをご使用ください。

新たに必要となる方は、下記の交付要件に該当することをご確認の上、保健福祉課保健福祉グループへ申請してください。

減額認定証の交付対象…次の区分Ⅰまたは区分Ⅱに該当する方

区分Ⅱ	世帯全員が住民税非課税である方
区分Ⅰ	世帯全員が住民税非課税である方のうち、次のいずれかに該当する方
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世帯全員の所得が0円の方 (公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の方) ・ 老齢福祉年金を受給されている方

後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証	
交付年月日 平成26年 8月 1日	
被保険者番号	01234567
住所	広城市連合町1丁目
氏名	広城 太郎 男
生年月日	昭和 7年 7月 7日
発給年月日	平成26年 8月 1日
有効期限	平成27年 7月31日
適用区分	区分Ⅰ
長期入被 証交付年月日	平成26年 8月 1日 保険者印 印
被保険者番号 （凡そ被保険者の名義及び印）	39011010 公印(朱)

新しい減額認定証は黄色です

お問い合わせ先
北海道後期高齢者医療広域連合
〒060-0062
札幌市中央区南2条西14丁目国保会館6階
電話 011-290-5601

お住まいの市区町村
中頓別町介護福祉センター内
保健福祉課保健福祉グループ
電話 01634-6-1995

「このゆびと〜まれ♪」 の活動



図書室だより

※ 6月4日 こども館にて
大型絵本の読み聞かせ・手遊び



※ 6月12・26日 小学校にて
読み聞かせ・学級文庫入れ替え



注目の新着本

(児童書)

『目にみえないもの』

著：星の王子さまと10人の探究者たち 講談社



『星の王子さま』70周年記念
「時間」「常識」「うそ」「愛」：
再び地球にやって来た王子さ
ま、日本のトップランナー10
人が、「目に見えない、かんじん
なこと」を探究する。

(一般書)

『ミッドナイト・バス』

著：伊吹 有喜 文藝春秋



東京での仕事に挫折し、故郷
で深夜バスの運転手として働く
利一。あるとき乗車してきたの
は、16年前に別れた妻だった。
おだやかな筆致で描かれる
家族の再生。そして出発。
第151回直木賞の候補作です。

※ その他、多数の新着図書が入りました。どうぞ、ご来室ください。



今月のおすすめ料理

自主組織グループ：北作楽（きたさくら）より

～よもぎいも団子の作り方



- ①じゃがいもは皮をむいてゆでてつぶします。
- ②よもぎは塩と重曹を入れた熱湯でゆでておきます。
- ③①と②を混ぜ合わせ、そこにでん粉を加えこね、適当な大きさに丸めます。
- ④③を表面がきつね色になる程度焼いたら出来上がり。
(③を熱湯でゆでてよい) 再度冷やし固めて出来上がり。

材料＜作りやすい分量＞

- じゃがいも・・・6個
- よもぎ・・・・・・・・50～60g
- でん粉（できれば未粉でん粉がよい）・・・300g程度
- 重曹・・・適量
- 塩・・・・・・・・少々



今回は、自主組織グループ「北作楽」の活動で調理した「よもぎいも団子」をご紹介します。ポイントとしてよもぎをゆでる際の重曹は入れすぎると、よもぎがやわらかくなりすぎるので、気を付けましょう。

じゃがいもとよもぎはまだ熱いうちに混ぜ合わせて、こねるといい様です。

こねれば、こねるほどよもぎの色合いがきれいに出てきます。

こねて、丸めたよもぎいも団子は焼いて食べても、ゆでて食べてもおいしくいただけます。また、お好みできな粉やあんこ、ゴマあん等をからめて食べるとよりおいしくいただけます。

じゃがいもの主成分はもちろんでん粉ですがビタミンC、B₁、B₆も豊富に含まれています。特に免疫力を高め老化や様々な病気を予防する効果があるビタミンCはりんごの約5倍含まれているとも言われています。香り高いよもぎとじゃがいもを使った「よもぎいも団子」をさつそく、作ってみませんか？

栄養士

市本美由紀

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

— 住んでいてよかった これからも住んでいたい —

日盛りの理屈ぬきなり店セーブル 高橋 惠翠	日盛りやかなかなか降らぬ雨を待つ 山崎 静女	日盛りやわさびたっぷり麵のつゆ 平田 栄珠	日盛りの身心どこか夢心地 高橋 妙子	日盛りのはしゃぐ声する遊園地 菅原 貞子	日盛りのねじり鉢巻応援団 東海林 海峯	日盛りの旗振る男のあから顔 武田 雄峰	やまなみ吟社 六月例会
--------------------------	---------------------------	--------------------------	-----------------------	-------------------------	------------------------	------------------------	----------------

～みどり溢れるまちに～ 『緑の羽根募金』の報告

4月18日から、この活動に取り組んでくれた小学校児童会と中学校生徒会の代表者が、校内で集めた募金を役場へ届けてくれました。募金総額は10,052円となっており、いただいた募金は植樹事業などに有効に使わせていただきます。善意の活動、ありがとうございました。



5/30 小学校児童会



6/18 中学校生徒会

編集後記

やっとな夏が来たという感じになりましたね。外気温も20℃を越す日が多くなり、エアコンの風や扇風機が傍になると過ごしにくくなって来たことでしょう。また、アイスやかき氷も食べ出すとやめられない季節に入ってます。みなさん、お腹の具合はいかがですか？どんな事でも「〇〇過ぎ」は、あとで後悔が付きまといまいます。けど、程よく丁度いいが中々難しい。特に子どもを持つ親は、苦勞が絶えないことでしょう。

(akki)

戸籍だより

6月1日～6月30日受付分
(公開にご了承いただいた方のみ掲載しています。)

うぶごえ

ひいろ
字中頓別 齋藤 陽彩 ちゃん
(雄輝さんの子 6月15日)

おくやみ

字中頓別 吉田 ミヨさん
(101歳 6月11日)

字中頓別 荒木 辰雄さん
(86歳 6月13日)

字中頓別 竹田 正夫さん
(86歳 6月15日)

字中頓別 岩澤 ハナさん
(91歳 6月24日)

人のうごき

(平成26年6月30日現在)
世帯 934(-3)
人口 1,890(-7)
男 938(-1)
女 952(-6)
()内は前月対比

※世帯数・人口・男・女には外国人も含まれます。

今月の裏表紙



最終競技の紅白リレー！
むらた ちひろくんはアンカーを見事に努めあげました。

広報誌なかとんべつ 7月号 Vol. 656

【発行】 2014年7月10日

【編集】 中頓別町総務課住民グループ 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172-6 TEL 01634-6-1111. FAX 01634-6-1155

HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>

e-mail : info@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

この広報誌は再生紙を使用しています。